

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	超高速バイオアセンブラ
領域代表者	新井 健生（大阪大学・基礎工学研究科・教授）
研究期間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、生体から取り出した細胞から人工的に三次元細胞システムを形成し、組織として機能させるための方法論の確立を目指しており、その必要性は高い。提案されている研究内容はチャレンジングであるものの、細胞特性の計測・制御、三次元細胞システムの構築、三次元細胞システムの機能解明という 3 つの研究項目の設定は明快であり、研究項目間の連携も明確である。領域代表者のマネジメント経験も十分にあり、計画研究と公募研究との連携に関しても工夫がみられる。将来に向けて、ロボティクス・ナノメカニクス・再生医療の融合は重要と考えられ、本研究領域による 5 年間の研究から、そのための学理の創出がなされることが期待される</p>